

平成27年12月28日

「リオ2016パラリンピック」
水泳競技推薦選手選考基準と方針について

(一社)日本身体障がい者水泳連盟

(一社)日本知的障害者水泳連盟

選考基準

*この基準は、身体・知的あわせて、日本代表としての選考基準である

1. 2014年10月15日以降2016年3月6日までに開催された国際パラリンピック委員会水泳部門(以下「IPC—SW」という。)公認大会で、リオ2016パラリンピック水泳競技参加標準記録(以下「MQS」という)を突破した者の中から選考する。
2. 2016年2月15日(予定)に、IPC—SW から MQS 選手枠数が配分された後、その枠数の範囲内で上位入賞の可能性のあるもの及び2020年東京パラリンピックにつながる記録をもっている選手から選考する

選考方法

本委員会では、次の手順で推薦選手の選考を行う。

1. 2015グラスゴー世界選手権大会での優勝者(1名既に選考・公表済み)
2. 2016年3月6日「27年度静岡記録会兼リオ・デ・ジャネイロパラリンピック選考記録会」において、両連盟が定めたリオ派遣標準記録(別表)を突破したものを選考する
3. 2016年3月6日「27年度静岡記録会兼リオ・デ・ジャネイロパラリンピック選考会」における記録と1月31日時点でのMQSランキング3位との比率差において、上位の成績を収める可能性の高い者から順位づけを行い選考する。この順位づけは男女別に行う
4. リレー種目の選手選考は、対象者4名の合計記録で検討する。そのため、個人種目では前項の順位付けの低い者が選考されることがある

5. 推薦選手が決定されるまでに、事前準備としてIPCやJPC、両連盟に対して様々な手続きが必要である。正式には別途通知するが、概ねその時期、提出書類及びその対象者は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない者は、推薦を辞退したものとして取扱う。
- ① 2015年12月～2016年1月
2016年IPCライセンス登録の手続きを行う。
 - ② 2016年2月初旬頃
リオ2016パラリンピックのアクレディテーション関係書類の提出を求める。対象者は、その時点でのMQS突破者及び、リオ2016パラリンピック水泳競技種目エントリー標準記録(MET)突破者である。
 - ③ 2016年3月6日(日)
27年度静岡記録会兼リオ・デ・ジャネイロパラリンピック選考記録会速やかに選考委員会を開催、その週の早期に推薦選手発表
 - ④ 2016年4月頃
リオ推薦代表選手合宿、リオテストイベント参加、健康調査、練習状況調査、推薦にかかわる各種関係書類の提出を求める。
 - ⑤ 2016年5月頃以降
JPCへの選手・役員推薦 メディカルチェック等を経て、正式決定へ